日本アッセンブリーズ・オブ・ゴット教団　2023年12月9日　Vol. 7

女性教職・教職配偶者のサポート情報誌【羽ばたこう！女性たち】

WOMEN IN MINISTRY

巻頭言

「恵まれた女よ、おめでとう。」

アッセンブリー新潟キリスト教会　土屋 康

「恵まれた女よ、おめでとう。」（ルカ 1:28）。主の母として選ばれたマリヤに語られた祝福のことばです。しかし、これは主の召しに与ったすべての女性たちに語られたことばとして受け取りたいものです。

みなさんは人生のそれぞれのシーズンを歩いていることでしょう。例えば、子育て真っ最中の方、ご両親の介護で日々苦労されている方、また、自らの体調不良で辛く困難を覚えている方など。それに加え、私たちには伝道牧会やさまざまな教会の働きもあります。どれほどの荷を抱えていることでしょう。ですから、羽ばたきたくても、羽が折れてしまって身動きさえできない時期があります。私も実のところ、昨年からの両膝半月板損傷で歩行に困難を覚えています。しかし、私たちには“主があなたとともにおられる”のです。痛みや問題にとらわれるのではなく、全能のお方なる主、慰めに満ちたキリスト・イエス、助け主なる御霊の約束があることが私たちの支えなのです。

私事としては、子供たちの長期の病や思春期の反抗、経済的問題、加えて信徒からの不満や教会離脱、本当に誰がこの任に耐えようか（IIコリント 2:16）と自問することもしばしばでした。しかし、主はすべてをご存じです。私たちが主の愛に応じて今を立っていることを。外なるものは移り変わります。しかし、内なる人はそうではありません。日々、新たにされると約束しているからです。またそうであっても、黙示録3:14-21 ラオデキヤの教会に愛を持って忠告している主でもあります。なまぬるい、妥協した歩みではなく、火で精錬された金、白い衣、良き目薬を主ご自身から買い求めることを勧めています。ややもすると妥協したマンネリな姿勢に陥りやすい私たちですが、日々キリストを心の王座に迎え、聞き従い、聖霊の助け求めていくことが羽ばたくことにつながるのではないでしょうか？

名もなき私たちに目を留め、主の大切なご用に召して下さり、共にいて励まし、慰め、私の働きをよくぞ忍耐してやってくれていると愛の声をかけて下さるのが主です。私は落胆したり、傷ついてしゃがみ込んだりした時、その声でどれほど泣いたことでしょう。

私たちの救いの道を開いて下さるために、愛が現されたクリスマス間近。
心から主をお迎え、喜びに包まれたいものです。

目次

02 【特集】教団総会２０２３ご報告
03 【クリスマス特集】アフターコロナ、どうしていますか？ ｜ オンライン勉強会WING報告
04 【学びのコラム】日本社会の現状と日本AG ｜ 新室員紹介

特集

教団総会2023ご報告

４年ぶりに本部に集まって教団総会が行われました。
全国から執成しの祈りで支えて下さってありがとうございました。
幾つか報告させて頂きます。

室長 中里恵美

会場には総会議員51名 (内女性８名、欠席1名) と傍聴10名 (内女性４名)、合計60 名の出席者のうち女性は12名が出席しました。女性が参加されているだけでなく、一昔前の総会に比べると和やかで穏やかな総会だった気がします。

1. 女性議員枠が増えます

今回「選挙制度変更の件　女性枠の拡大と２回選挙、選挙日程の変更」が上程されました。女性枠を３名から５名に拡大する提案です。

前回選挙では、教区枠で相当数を得ながら当選しなかった人よりも少ない得票数で当選する女性議員が出る結果になりました。

票の分散を避け、投票したい議員を明確にできるため２回選挙が提案されましたが、女性枠の拡大は賛成、選挙が複雑になる２回選挙は反対の声が多く、賛成３２名、２／３以上の賛成に届かず否決されました。

しかし最終日、教団が進める女性活躍と今後の教団の益になるため「女性枠５名とする選挙制度変更」の議員提案が上程されました。こちらは細則変更のため過半数で承認されますが、賛成４７名で承認可決されました。

来年の総会議員選挙から適用されます。

2. 総会のオンライン参加について

今回「総会の開催時期と決算総会のオンライン開催について」議案が上程されました。こちらは全会一致で承認されました。

教団規則で「総会は原則対面で行う」が、前記により「予算総会は原則対面で行う」に変更されました。続く議案も賛成多数で可決され「やむを得ない事由で対面出席が困難な場合、申請と理事会の承認によりオンライン出席が認められる」ことになりました。女性議員にとってもプラスになることと思います。但し、自由にオンライン参加を選べる、と言う訳ではありません。

3. 本部施設建築の7億円予算

創立７５周年記念事業として始まった計画です。既に承認を得ている建築計画に、材料費や人件費高騰から今回は２億円を追加した総予算 ７ 億円の建築予算変更の提案でした。

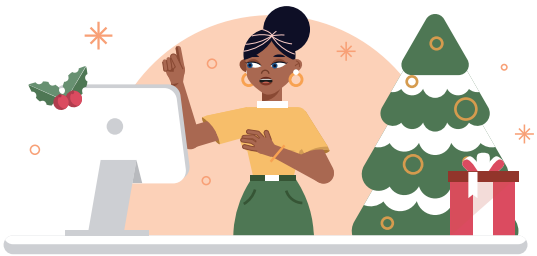
コロナ禍を経て、聖会が出来る大きなホールより配信可能なスタジオを持つメディア棟建築、本部棟の解体～新築より耐震補強、神学校からの要請を受けて旧弓山邸を解体し管理棟を新築、当初計画になかった宿泊棟は建替えでは高額になるため改修するなど計画が推移して来ました。

これだけの大事業を自己資金で出来るとは素晴らしいことです。しかし予算が大きく質問は尽きず、理事会から議案取り下げの提案がなされました。施工の予定期間は動かせないこと、年を越えると価格が跳ね上がる可能性もあることから１２月にオンラインで臨時総会を開催して審議することになりました。工事が始まれば、駒込の桜は来年が見納めです。

4. 教団人事

最後に来年の教団人事が発表されました。数え間違いがなければ、重複する名前を含めて総数３１６名、そのうち女性の名前は７０名で２２%でした。

今後更に多くの女性が主の働きに用いられることを期待しています。



クリスマス特集

アフターコロナ、どうしていますか？

質問１：アフターコロナでクリスマスはどんな企画をしていますか？
質問２：食事をしますか？しませんか？するとしたらどんな形式ですか？
質問３：教会のイベントに関して、コロナ前と変えたことはありますか？

和田実樹子　八王子基督教会（めじろ台シオンチャペル）

1 今年のクリスマスは、ボーマン師をお迎えしてのチェロコンサート、クリスマス礼拝、イヴ礼拝を予定しています。

2 今年は食事会をしませんが、昨年までは、お弁当で、ささやかにお交わりしました。早くパーティをしたいです！

3 交わりが出来なかったので、食事も合わせて交わりをして行くことと、外向きのイベントが制限されていたので、地域宣教に力を入れていきたいです！

藤井佳子　新中野キリスト教会

1 子どものクリスマス会、ユースクリスマス会、クリスマス礼拝、キャンドルサービスが計画されています。

2 男性グループは食事会を予定。女性グループはケーキとお茶の会を準備。各グループごとに少人数で集まるように考えています。

3 指消毒用にアルコールを数多く設置。来会者にはマスクの着用を依頼。また換気対策として、会堂後ろに換気扇を２台設置。礼拝中は会堂前の窓を少し開けて、これら２台の換気扇を使用。礼拝後には、会堂に集まった方々の写真を毎回撮り、後日感染者が出た場合に連絡がとれるようにしています。今のところ連絡する必要は起きていません。

浦野慶子　金沢聖書教会

1 教会のみんなで靴屋のマルチンの人形劇を作って披露する予定です。

2 食事はする予定です。今のところはコロナ前のような愛餐会を予定しています。

3 特にないです。予防接種を全員が受けることでしょうか？感染対策については一人一人の判断を大切にして、尊重しています。

佐藤清子　武蔵野基督教会

1 今年のクリスマスは 12 月 17 日にゲストをお迎えして、クリスマスコンサートを行います。24 日は午前クリスマス礼拝、夜はキャンドルサービスを行います。

2 クリスマスは愛さん会を行い軽食を出します。食事はお茶とサンドイッチを用意します。

3 コロナ前は食事を手作りしていましたが、コロナ後は手作りをせず、全て外注します。子供達のイベント（子ども祭り）は、コロナ前は誰でも OK でした。昨年から再開し、教会関係者と幼稚園関係者のみ招待しています。

オンライン勉強会WING報告

4月、5月、6月に「オンライン勉強会WING」を実施しました。教団方針案を3回に分けて一緒に読み、A2J担当者、コンプライアンス室員を招いて説明もして頂き理解を深めることができました。毎回行った抽選会も楽しかったです。全国から参加して下さった皆さまに感謝いたします。　記・中里

学びのコラム

「日本社会の現状と日本AG」

室員 野川悦子

衝撃の始まり

今年大手メーカーの株主総会で、経営トップが賛成 50.59%、過半数ぎりぎりで再任されるという異例の事態が起こりました。

Ⅰ 投資家へのアドバイス

株主の判断に影響を与えたのは米国の議決権行使助言会社でした。この会社は株主総会時、投資家に、取締役会に女性が 1 人もいない企業に対しては経営トップの取締役選任に反対を推奨するとしたのです。

Ⅱ ジェンダーバランスを重視

国内の投資家はここ数年、女性取締役ゼロに厳しい目が向けられ、ジェンダーバランスを重視する動きが広がっています。何故でしょう？「性別や国籍などが異なるメンバーがそれぞれ違った視点から活発に議論することで、リスクを回避して環境の変化やガバナンス上の問題にも対処できる。ビジネス環境の変化が激しい今の時代、多様性のある企業のほうがイノベーションを生み出す可能性が高い」とされるからです。

Ⅲ 日本の現状と課題

それでは日本の現状はどうなのでしょうか？　金融庁は 2030 年までに女性役員の比率を 30%以上にする目標を掲げました。しかし現在は 15.5%にとどまっています。そして何よりの問題点は人材がいないことなのです。「中長期的に女性リーダーをどう育て、どのように登用していくか問われる。」…考えさせられるニュースでした。

Ⅳ 教団総会に出席して

11 月に教団総会が行われました。現在の総会議員は 51 人。そのうち女性は 8 名になりましたが、それでも全体の 15.7% で、企業での女性役員の比率とほぼ同数です。今回の総会で女性枠を 5 名にする議案が可決されました。増員に賛成して下さった男性議員の方々が居られたことは、キリスト教界で革新的なことだと思います。女性議員が多くなり、教団の現状と未来を女性も一緒になって考え、意思決定の場所に女性がいることはとても重要であり、(企業とは違いますが) ジェンダーバランスが正しくなった時の利点も期待できるでしょう。

Ⅴ 問題の解決のため

勿論女性枠の人数が増えても、全国枠から女性議員が選出されなければ女性の割合は増えていきません。また人数が増えても女性の育成や登用も課題です。これまで女性活躍推進室では理事長の掲げた教団方針を読む会や会議の行い方などの勉強会を行ってきました。また会議のオンライン化や部員、委員、教区長の女性登用が行われ、環境が整い、女性も成長しつつあります。議員に限ることではありませんが、これからの女性の在り方として広い視野で物事を見、適切な考えと判断が出来たら幸いです。皆が成長して教団を支える者となれますようにと願って止みません。

新員紹介室

本田基枝
仙台神召キリスト教会

上田恵美子
シャロンキリスト教会

この度、新人事により2名の方々が女性活躍推進室に加わりました。これまでの室員同様、よろしくお願いいたします。

教職局
女性活躍推進室
室員紹介

室長 中里恵美

室員 野川悦子

室員 三箇豊実

室員 趙 善江

室員 林 恵美子